

地域おこし協力隊“奔走中”

この度12月から地域おこし協力隊に着任いたしました、
いっぽなおや
伊坪直也と申します。名古屋市出身で、11月までは茅野市に12年ほど住んでおり、12月からは、立科町に移住してきました。趣味は登山やスキー、スノーボードや自転車などアウトドアスポーツが好きです。また前職はバラや花を扱い販売するガーデニング業務をしていましたので植物も好きです。あと、猫も好きです。お庭の手入れもしていましたので、町の中でお庭のお困りごとなどがあればお問い合わせください。白樺高原観光センター内の観光協会の事務所にて、まずは窓口業務、SNSの運用等から始めております。登録できる方はよろしく願いいたします。基本的には観光業務を通じて立科町に貢献できるよう努めておりますが、花や植物などを使った取り組みもできればと考えております。何卒宜しくお願いいたします。

●観光振興担当
伊坪 直也です。



地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年から3年です。具体的な活動内容や条件、待遇等は各自治体により様々ですが、総務省では、地域おこし協力隊員の活動に要する経費に対して隊員1人あたり480万円を上限として財政措置を行っています。（参照：総務省HP）